

へいせい ねん ど                      ねん がつ                      ねん がつ  
平成29年度 (2017年 4月～2018年 3月)



# だ い ど こ ろ    じ   じ ょ う ハマの台所事情

よこはま し                      かね  
横浜市のお金のおはなし

に   ほん   ご   ばん  
やさしい日本語版



# 平成29年度(2017年4月～2018年3月)に 横浜市がすること

今年(2017年)は横浜市をもっとよくするために2014年に始めた「4年計画」の最後の年です。

## 子どもや、子どもを育てている人のために

- ・保育所に入ることができない子どもがいなくなるように、保育所を多くします。
- ・おなかに赤ちゃんがいるときも、赤ちゃんが生まれたあとも、お母さんやお父さんを手伝います。



## お年寄りのために

- ・年をとって会社をやめたあとも、別の仕事やボランティアなどができるように手伝います。



お年寄りの生活のしかたに合う仕事やボランティアなどを紹介します。

## 体などに障害がある人のために

- ・スポーツや文化を楽しむ場所を横浜市の南のほうにつくります。



## 横浜市が急いでしなければならないこと

生活のお金が足りなくて困っている家の子どものために



塾(学校の授業が終わったあと勉強に行く所)などに通うことができない小学生と中学生に勉強を教えたり、途中で学校をやめる高校生が少なくなるように手伝ったりします。「子ども食堂」なども手伝います。

いろいろな問題で困っている子どものために



学校や家などで問題があつて困っている子どものために市の専門家を4人増やします。近くの小学校と中学校に同じ専門家が行くようにして、中学生になったあとも同じ専門家に相談できるようにします。

学校へ行く道の安全のために



色をぬる前 色をぬった後  
あんしんカラーベルト

人が歩く道と車が通る道を分けたり、人が歩く所を緑色にしたりして、事故がないようにします。

## 健康のために

- ・たくさん歩くとポイントが集まって、プレゼントをもらうことができる「よこはまウォーキングポイント」を行っています。



「よこはまウォーキングポイント」に参加する人が30万人になるようにします。

## 働きたい女性のために

- ・働き方の相談などができる所をつくって、女性が働きやすくなるようにします。
- ・会社をつくりたい女性や、しばらく仕事をしていなくてももう1度働きたい女性を手伝います。女性が働きやすい会社になるように、横浜市がお金を出したり専門家がアドバイスをしたりします。



輝く女性起業家プロモーションウィークス

## 病気の人や、介護(生活の世話)が必要な人が、安心して生活できるように

- ・お年寄りなどのために、横浜市と病院や介護(生活の世話)のサービスをしている所などが協力できるようにします。



## これから大きくなる産業や会社などのために

- 今までになかった物、サービス、産業を新しくつくることを手伝います。
- 横浜市にある会社に横浜市がお金を出したり、経営や技術のアドバイスをしたりします。
- 道にたくさんの店が並んでいる「商店街」にお客さんがたくさん来るように手伝います。



せんはっせい き  
X線発生器を  
作っているところ

## 地震や火事などのときの安全のために

- 地震や火事のときのために、道を広くして救急車や消防車が通ることができるようにします。建物などを火事になりにくくします。
- 雨がたくさん降ったときなどに、家や道の近くの崖から土などが落ちないようにします。川の水がいっぱいになってあふれたとき、人やまちの被害が少なくなるようにします。



かけ しら  
崖を調べているところ

## たくさんの方が旅行や仕事で横浜市に来るようになり、文化や芸術で市の産業などを盛んにしたりするために

- 「第50回アジア開発銀行年次総会」という国際会議を横浜市で開きました。
- 日本や世界の芸術家の絵などを見ることができる「ヨコハマトリエンナーレ2017」を開きます。体などに障害がある人とプロと一緒に作った作品を見ることができる「ヨコハマ・パラトリエンナーレ2017」も開きます。



## 便利で住みやすい横浜市にするために

- 新しい道「横浜環状道路・北西線」をつくります。
- 市役所の建物を新しくします。いろいろな会社や店などがある「関内・関外地区」が、みんなが住みたい所、働きたい所、行きたい所になるようにします。
- 古くなった家などが多いまちを新しくして、住みやすくします。



写真提供: 首都高速道路(株)

よこはまこうほく  
横浜港北ジャンクション

## よこはまし これからのために横浜市がすること

### ねん ひょういん もん だい 2025年の病院の問題



としよ が ふ ひょういん た  
お年寄りが増えて、病院が足りなくなっているため、2025年にはもっと多くの方が家でお年寄りの介護(世話)ができるように、専門の医者を多くしたり、介護などに必要なデータを集めて研究したりします。

### ラグビーのワールドカップ(2019年) とう きよう 東京オリンピック・パラリンピック(2020年)



ワールドカップなど、世界のチームが集まるスポーツのイベントが2年続けて日本です。横浜市でも試合をします。会場の準備や選手のためにいろいろな準備をしたり、小学生や中学生と選手たちが交流できるように計画をしたりします。イベントが成功して横浜市がもっと成長するように、横浜市のみんなで準備をします。



# よこはましよさん 横浜市の予算

よこはましよさん「なにつかかね」「どこからはいったお金か」で3つのグループに分けています。3つのグループは「①一般会計」「②特別会計」「③公営企業会計」です。

## ① 一般会計

1兆6,459億円 2016年度より8.7%多いです。

市に住んでいる人たちの生活や健康、教育などのためにサービスを行ったり、道や公園をつくらしたりするために使うお金です。市に住んでいる人が市に払った税金のほとんどは、「①一般会計」で使っています。

### 歳入 (収入 (横浜市に入るお金))

1兆6,459億円 ( )は割合

- (1) 市に住んでいる人が払う税金 7,163億円 (43.5%)
- (2) 国や県からもらうお金の中で、何に使うかを国や県が決めているお金 3,649億円 (22.2%)
- (3) 県に入った税金の中から、市がもらうお金 1,807億円 (11.0%)
- (4) 道や公園、みんなが使う建物などをつくるために市が借りるお金 769億円 (4.7%)
- (5) (6)のお金が足りない時、市が借りるお金。返すためのお金は国が出します 630億円 (3.8%)
- (6) 使うお金に比べて入るお金が少ない市や町などが国からもらうお金 210億円 (1.3%)
- (7) 国に入った税金の中から、市がもらうお金 84億円 (0.5%)
- (8) 国が決めた計画が原因で、市に入る税金が少なくなったとき、国からもらうお金 25億円 (0.1%)
- (9) そのほかのお金 2,123億円 (12.9%)

### 歳出 (支出 (横浜市が使うお金))

1兆6,459億円 ( )は割合

- (1) 市役所などで働いている人の給料など 3,569億円 (21.7%)
- (2) 子どもや生活に困っている人のためのお金、保育所や幼稚園のためのお金、病気やけがをした人のためのお金など 4,694億円 (28.5%)
- (3) 今までに借りたお金を返すためのお金 1,850億円 (11.2%)
- (4) 市のサービスや建物などをみんなが利用できるようにするためのお金、横浜市にある会社に貸すお金など 2,473億円 (15.0%)
- (5) 道や公園、みんなが使う建物などをつくったり直したりするためのお金 1,904億円 (11.6%)
- (6) 『②特別会計』と『③公営企業会計』に使うお金 1,969億円 (12.0%)

## ② 特別会計

1兆3,449億円 2016年度より0.2%多いです

病気やけがをした人、介護(生活の世話)が必要なお年寄りのための保険や、市が借りているお金などのためのお金です。どこから入ったお金をいくら使ったかはっきりわかるように「①一般会計」と別のグループにしています。

## ③ 公営企業会計

5,801億円 2016年度より7.2%多いです

地下鉄、バス、水道、病院などのためのお金です。みなさんが地下鉄などを利用して払ったお金が横浜市に入ります。

# ◎一般会計の収入について

## Q 質問

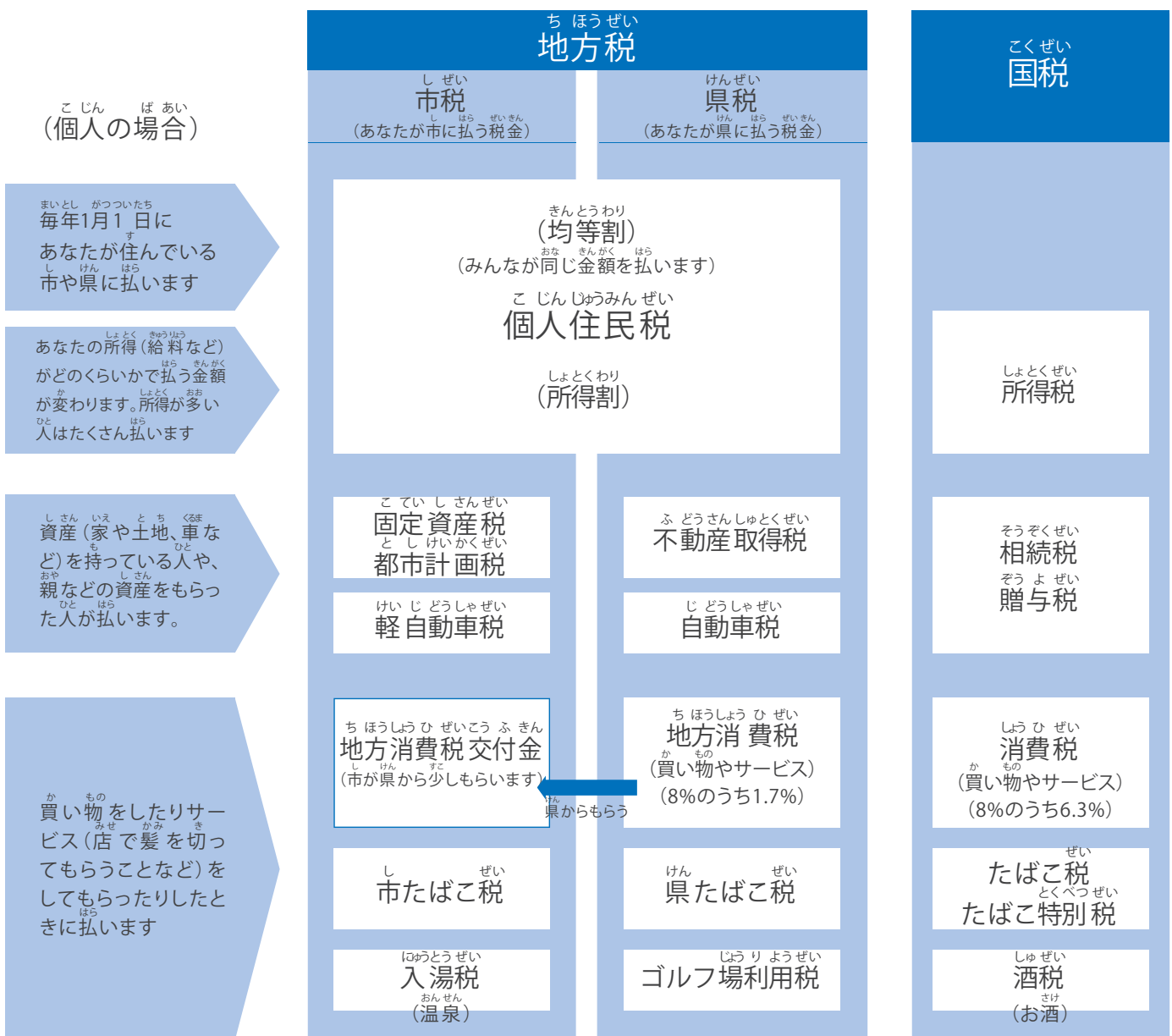
どんな税金がありますか？

## A 答え

税金は、みんなの生活のために必要なお金で、生活しているみんなが払っています。

税金には、国に払う「国税」と、県や市などに払う「地方税」があります。

例えば、横浜市に住んでいる人は下のような税金を払っています。



- (\*1) ほかにいろいろな税金や市がもらうお金があります。説明は簡単になっています。
- (\*2) 「個人住民税」は、あなたの市税と県税を足した金額を横浜市に払います。
- (\*3) 「8%」は、平成28年(2016年)4月1日のときの「消費税」と「地方消費税」です。市や町などは、県に入る「地方消費税」の中から少しお金をもらいます。これを「地方消費税交付金」と言います。
- (\*4) 法人(会社など)が国、県、市などに払う税金もあります。(法人市・県民税、法人税など)

# ◎一般会計の支出について

## Q 質問

横浜市は税金などの収入(入るお金)を何に使っていますか?

## A 答え

市に住んでいるみんなの生活のために使っています。

## Q 質問

「①一般会計」の予算は何にいくらぐらい使っていますか?

## A 答え

横浜市は、子どもを育てている人や生活に困っている人のため、道や港をつくるためなど、いろいろなことにお金を使っています。特に、「子どもを育てること・教育」「みんなの生活・健康・病気やけがをしたとき」のためにたくさんのお金を使っています。

子どもを育てること・教育

5,259億円 (140,953万円)  
32.0%

みんなの生活・健康・病気やけがをしたとき

4,531億円 (121,433万円)  
27.5%

道・家・まちをつくる

1,713億円 (45,916万円)  
10.4%

市役所の仕事の計画をたてることなど

1,459億円 (39,106万円)  
8.9%

地球温暖化(地球の気温が上がること)の問題・水や木などを大切にすること

1,032億円 (27,672万円)  
6.3%

横浜市をすばらしい市にすること・経済

939億円 (25,170万円)  
5.7%

近所の人たちの交流や

459億円 (12,312万円)  
2.8%

スポーツを楽しむこと・区の仕事

ごみを片付けること・ごみを少なくすること・捨てた物をリサイクルする(もう一度使う)こと

452億円 (12,125万円)  
2.7%

まちの安全

417億円 (11,183万円)  
2.5%

地下鉄・バス・水道

196億円 (5,258万円)  
1.2%

( )の中は市民一人分のお金

# 平成29年度 横浜の素晴らしさを紹介するイベント

平成29年(2017年)3月25日(土曜日)～6月4日(日曜日)  
第33回全国都市緑化よこはまフェア



©ITOON/GN2017

国際会議 第50回アジア開発銀行年次総会  
5月4日(木曜日)～7日(日曜日)



2017世界トライアスロンシリーズ横浜大会  
5月13日(土曜日)14日(日曜日)



©Shugo Takemi

世界の芸術家などの絵などを見ることができる  
ヨコハマトリエナーレ2017  
ヨコハマ・パルトリエナーレ2017  
8月4日(金曜日)～11月5日(日曜日)



撮影:加藤健

横浜 マラソン2017  
10月29日(日曜日)



## Column

横浜市を「家庭の収入と支出」だと考えてみましょう。

まず「家庭の1年の収入と支出」だと考えるために、横浜市の1年の予算を1/200000にしたあと、「1か月のお金」にするために1/12にしました。

入るお金	平成29年度
会社からもらうお金	404,313円
毎月必ずもらう給料	298,442円
市税	
残業代やボーナスなど	105,871円
地方譲与税、県税交付金、地方交付税など	
家を直すために市などからもらうお金や 勉強のために学校や市などからもらうお金	152,036円
国、県支出金	
パートでもらう給料、家具などを売ったお金	71,149円
市の建物やバスなどを利用した人が払うお金など	
家を直したり、新しい車を買ったりするために、銀行から借りたお金	58,290円
市債	
全部を足したお金	685,788円

使うお金	平成29年度
食事のお金	148,723円
人件費	
病院・保育所などのお金	195,577円
扶助費	
家を買うときに借りたお金	77,074円
公債費	
電気代、水道代、ガス代や、毎日の生活、教育に必要なお金	103,043円
行政運営費	
家を直すお金や、新しい車、ベッド、テーブルなどを買うお金	79,342円
施設等整備費	
大学などに通うために1人で住んでいる子どもに送るお金	82,030円
繰出金	
全部を足したお金	685,788円

ハマの台所事情 平成29年(2017年)4月発行 発行: 横浜市財政局財政課 (制作協力: 横浜市市民局広報課)  
〒231-0017 横浜市中区港町1-1 電話: 045-671-2231 FAX: 045-664-7185

E-mail: za-zaisei@city.yokohama.jp HP: <http://www.city.yokohama.lg.jp/zaisei/org/zaisei/>

